

市独自の雇用・経済対策にさらに力を入れ、くらし・仕事確保への支援を！

3月25日、市議会予算決算委員会が開かれ、日本共産党市議団からは、ますだ牧子市議が合併に関わっての市道の引き継ぎと整備について、上野みえ

こ市議が城南町の土地区画整理事業について、なすまどか市議が市独自の雇用対策とNEC川尻工場の労働者の配転について、それぞれ締めくくり質疑を行いました。

NEC川尻工場のライン縮小による雇用への影響を把握し必要な対策を！

今年度卒業予定者の就職内定率は1月の時点で、県内大学生が42%、高校生が77%と前年を大きく下回り、多くの青年が希望を見出せない状況です。数か月にわたり仕事がないという建設業者は、倒産・失業に追い込まれ、中小業者は、生活の危機に直面しています。

こうした状況を受け、質疑では、市独自の雇用・経済対策をさらに強めるよう市長に要請。市内中小業者の仕事につながる市営住宅をはじめとした公共施設の修繕や維持、生活道路の整備などを抜本的に進めると同時に、予算の10倍から20倍の経済効果が見込まれるリフォーム助成の実施など求めました。また、仙台市の高校新卒者への対策なども紹介しながら、仕事に就けない労働者へ支援を求めました。

仙台市では高校新卒者への就職支援など独自対策

仙台市では市内在住の未就職高校新卒者100人程度の賃金を行政が負担し、中小企業に派遣。その間にカウンセリングやスキルアップセミナーを実施するなど、未就職高校新卒者の正規就職につなげると同時に、経営苦で人を雇えない中小業者への人的支援という両側面での独自の対策が取られています。



熊本市の嘱託員・臨時職員募集も随時行われています

熊本市においては、緊急雇用創出事業として、嘱託員や臨時職員の募集が行われています。詳しくは、熊本市ホームページをご覧ください。
(TEL: 371-8609) にお問い合わせください。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階 HP: <http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO 703

2010年4月11日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

なすまどか議員は「NEC川尻工場のライン廃止による雇用への影響など熊本市として実態の把握に努め、雇用を守る立場で企業側に要請し、市としても必要な対策をとるよう」幸山市長に質しました。市長は「情報収集を行いながら、雇用確保等にも最善の努力をしていただくようお願いしたい」と答弁。

NEC川尻工場では、製造ラインのひとつを閉鎖し、大分や人吉錦工場への移管が進められています。NECとの労働問題をめぐる団体交渉の中では、約300名の従業員が他工場へ配転されることが明らかにされました。同工場で働いていたある女性労働者の

一人は、人吉の錦工場への配転が求められるなかで、家族をおいて仕事を続けるかどうか悩み、子どもが小さいこともあり、退職の決断を余儀なくされたとのことでした。配転に応じるか、それとも仕事を失うか、こうした厳しい選択が多くの労働者に迫られています。

雇用をめぐる問題については、企業側としても地域の雇用を守ってこそ、労働者の生活水準が確保され、それが企業の健全な発展にもつながります。企業の社会的責任を果たすよう行政としても求めていくことが大切です。

(控室から)

益田牧子

プレゼントは肩たたき機

東京に住む息子から、還暦祝いに「肩たたき機」と入浴剤が届きました。「お父さんと一緒に使ってください」と書いてありました。さっそく、『トントン』と快いリズムで肩をほぐしました。娘からも、赤いボールペンとかわいいペンケースをもらいました。こころ優しい子ども達に感謝！

満三歳になる娘の子ども(孫)を見るにつけ、『わが子もこんなに可愛かったかな！』と、『早く、早く！』を連発し、余裕のなかったわが子育てを反省しています。独身の息子には、熊本ラーメンやパル柑、ふりかけ、赤飯など食料品を送りました。まもなく三十二歳、「良い伴侶に出会うことができるだろうか」と心配しています。

老後は、趣味を楽しみ生き方を夢見ていましたが、「年金通知」が届き、現実を引き戻されました。六五歳になっても、厚生・国民年金合わせて、月額十万円にも満たない金額には、愕然です。

ふるさとに住む両親は、これまで、少ない年金と季節の野菜を直売所に出荷し、収入を得て、細々と生活していました。しかし、父が八五歳を過ぎ、車の運転が出来なくなり、母も歩けなくなり、入院するなど老人問題が身近に迫ってきました。だれもが「老後を安心して暮らせる」政治の実現が、私の大きなテーマとなりました。

引き継ぐ負の財産・・・行き詰った城南町中央区画整理の焦げ付き貸付 5 億

もともと無理があった計画を町が全面的な支援

【当初事業計画】

(期間) H10～17 年度の 8 年間
(総事業費) 37 億 8,100 万円
うち、町負担・5 億 895 万円



【H20 年 3 月第 5 回変更時の計画】

(期間) H10～24 年度の 15 年間
(総事業費) 45 億 3,000 万円
うち、町負担・4 億 9,190 万円

- * 当初 8 年間で計画されていた事業は、地権者の理解がすすまなかったことによる事業の遅れなど、さまざまな理由から事業計画期間が 2 倍近くの 15 年間に延長され、事業費も膨れました。
- * 一方で、保留地処分はすすまず、地価の下落等によって、保留地処分金は不足の見通しになっていきました。

* 上野議員の総括質疑で明らかになったこと

- ① 保留地処分が計画通りにすすんでいないこと
合併直前の 3 月に駆け込みで、町が 1 億 4,700 万円分を購入しましたが、保留地処分は遅れています。

- ② 事業計画は、さらに H26 年度まで延長せざるを得ないこと
H20 年の計画変更で、最終年度は H24 年度と予定されていたが、換地計画の遅れや、保留地処分が予定通りにすすんでいないことから、事業計画はさらに延長され、現時点で H26 年度までの見通し。(さらに、この遅れも考えられる)

- ③ 5 億円の不足金が出る見通し
八幡特別顧問(城南町の元町長)は、「最終的な事業不足金は約 4 億 9,200 万円と試算している」と答弁しました。

- ④ 町の貸付は、5 億 2,000 万円未償還のままになっていること
町は、事業が行き詰る中、区画整理組合に対し、H17・18 の 2 カ年で合計 7 億 6,500 万円の貸付けを行ないました。合併直前に駆け込みで町が土地を買い取り、償還金に充てられましたが、まだ 5 億円の貸付が未償還です。

事業が行き詰った原因・責任の所在を明らかにすべき

城南町中央区画整理事業は、組合施行ですが、もともと城南町が乱開発防止を目的に、人も金も出し、後押しした事業でした。しかし、過大な計画とずさんな運営が行なわれ、行き詰まりました。

合併前の町議会では、工事費(約 40 億円)が談合の疑われる 100%近い金額で落札、異常に増えた補償費では家屋 3 軒に 1 億円もの移転補償費を払ったなど、ずさんな事業実施の問題点も指摘されていました。

合併のときは知らされなかった莫大な不良債権・5 億円

今のまま行けば、最終年度・約 5 億円の不足金が出ることから、貸付金償還の困難が予想されます。

合併前には、熊本市民に全く説明されず、5 億円もの不良債権を引き継いだことは、きわめて重大です。

城南町の「一部形態のない道路」問題を質疑

城南町では、昨年 12 月議会で 3 本、本年度 3 月議会で 42 本あわせて 45 本の「駆け込み的」な町道認定が行われています。合併により、町道は「熊本市道」として、文書引き継ぎが行われました。益田牧子議員は、昨年 12 月議会で認定された城南町「今宮地線」の今後の買収・整備の可能性について質問しました。この路線は、城南町議から、「現地調査をしたが、歩こうにも歩けませんでした。なぜならば、孟宗竹がいっぱい立ってあって、しかも崖でした」「道幅も 1 メートル前後」などと、疑問点が指摘され、僅差で可決・認定された「一部道路形態のない道路」です。都市整備局長は、「用地買収できる路線は、H21 年 1 月 15 日までに要望された 85 路線」、「整備の優先順位は、緊急性及び必要性、技術的要件、地権者の協力など総合的に判断する」と答弁しました。「今宮地線」は、用地買収の対象外であり、整備も極めて難しい路線であることが、ハッキリしました。益田牧子議員は、「今宮地線」については、現地調査の上、「市道の廃止」などの手続きをとるよう要望しました。